

島原市ゼロカーボンシティ宣言

地球温暖化の原因となる人間の活動に伴う温室効果ガスの影響については、IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）により「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない」と明記されました。

地球温暖化に伴う異常気象による干ばつや洪水が世界各地で発生しており、農業生産や生物多様性、人間社会への脅威となっています。国内においても、近年の異常な酷暑や大型化する台風など、その端緒が現れ始めています。

これ以上の気候変動を防ぐためには、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を、1.5 度に抑える」必要があるとされ、この目標の達成には 2050 年までに CO₂ の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

このような状況を踏まえ、国においても、「2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」が宣言され、現在、官民を挙げた脱炭素に向けた取り組みが本格化しており、この流れは世界中の国々にも広がっています。

本市においても、地球温暖化防止は最重要な課題であり、気候変動による影響から市民の生命・財産を守りつつ、私たちの歴史ある美しい郷土を未来に引き継ぎ、世界中で災害等に苦しむ国々を出さないよう脱炭素化の取り組みを柔軟かつ速やかに推進しなければなりません。

ついでには、本市も国内の多くの自治体や国際社会と足並みを揃え、2050 年の脱炭素社会の実現を目指す決意を表明するため、ここに「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

令和 5 年 4 月 18 日

島原市長

古川隆三郎